



水稲用一発処理除草剤

# アツパルZ<sup>®</sup>

1キロ粒剤 フロアブル ジャンボ 400FG<sup>NEW</sup>

## 手強い雑草に喝!



SU抵抗性ホタルイ

田植同時(1キロ粒剤のみ)、  
直播水稲、WCS用稲  
にも使えます!

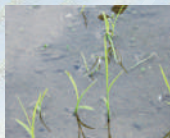


クログワイ

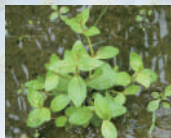


オモダカ

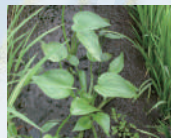
雑草の  
生育を強く抑制  
×  
速い効き目



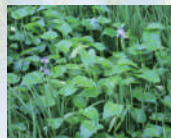
ノビエ



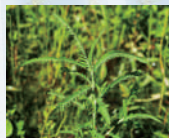
アゼナ



コナギ



ミスアオイ



クサネム



ヘラオモダカ



コウキヤガラ



アオミドロ



特長

ノビエはもちろん、SU抵抗性ホタルイ、クログワイにもしっかりと効果を発揮

- SU抵抗性雑草（ホタルイ、コナギ、アゼナ等）にも高い効果を発揮します。
- クログワイ、オモダカ等の多年生雑草を長期間強く抑制します。
- 効果の発現が速く、長期間持続します。
- FG剤は軽量かつ水面を自己拡散する新しい製剤です。

適用雑草の範囲及び使用方法

アツパレ Z 1キロ粒剤

■有効成分（一般名）ピラクロニル:2.0% プロピリスルフロロン:0.9% プロモプチド:9.0% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第23719号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ ミスガヤツリ、クログワイ、ヒルムシロ、セリ エゾノサヤヌカグサ、オモダカ、コウキヤガラ シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	田植同時 散布機で施用	ノビエ	3葉期まで
		移植直後～ノビエ3葉期 但し、移植後30日まで				雑水散布 又は 無人 ヘリコプター による散布	ミスアオイ
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで	500ml	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	原液湛水 散布 又は 水口施用	ホタルイ	4葉期まで(但し、直播水稲は2葉期まで)
		雑草名				散布適期	ウリカワ
						ヘラオモダカ	3葉期まで
						ミスガヤツリ	4葉期まで(但し、直播水稲は3葉期まで)
						ヒルムシロ	発生期まで
						セリ	再生前～再生始期まで
						エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

アツパレ Z フロアブル

■有効成分（一般名）ピラクロニル:3.7% プロピリスルフロロン:1.7% プロモプチド:16.8% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第23778号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ ミスガヤツリ、クログワイ、ヒルムシロ、セリ エゾノサヤヌカグサ、オモダカ、コウキヤガラ シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	500ml	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	原液湛水 散布 又は 水口施用	ノビエ	3葉期まで
		雑草名				散布適期	ミスアオイ
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで	400g	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる	ホタルイ	4葉期まで(但し、直播水稲は3葉期まで)
		雑草名				散布適期	ウリカワ
						ヘラオモダカ、ミスガヤツリ	3葉期まで
						ヒルムシロ	発生期まで
						セリ	再生前～再生始期まで
						エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

アツパレ Z ジャンボ

■有効成分（一般名）ピラクロニル:5.0% プロピリスルフロロン:2.25% プロモプチド:22.5% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第23720号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ、クログワイ エゾノサヤヌカグサ、オモダカ、コウキヤガラ シズイ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g)	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる	ノビエ	3葉期まで
		雑草名				散布適期	ミスアオイ
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 但し、 収穫90日前まで	400g	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	水田に小包装 (パック)のまま 投げ入れる	ホタルイ	4葉期まで(但し、直播水稲は3葉期まで)
		雑草名				散布適期	ウリカワ
						ヘラオモダカ、ミスガヤツリ	3葉期まで
						ヒルムシロ	発生期まで
						セリ	再生前～再生始期まで
						エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前～発生始

アツパレ Z 400FG

■有効成分（一般名）ピラクロニル:5.0% プロピリスルフロロン:2.25% プロモプチド:22.5% ■人畜毒性:普通物\* ■農林水産省登録 第24241号

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	総使用回数	使用方法	雑草名	散布適期
移植水稲	一年生雑草及び 多年生広葉雑草、 エゾノサヤヌカグサ、 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	400g	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	ノビエ	3葉期まで
		雑草名				散布適期	ミスアオイ
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ミスガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで	400g	本剤 1回 ピラクロニル剤 2回 プロピリスルフロロン剤 2回 プロモプチド剤 2回	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機 による散布	ホタルイ	4葉期まで(但し、直播水稲は3葉期まで)
		雑草名				散布適期	ウリカワ
						ヒルムシロ	発生期まで
						セリ	再生前～再生始期まで
						エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
						オモダカ、クログワイ	発生前～発生始期まで
						コウキヤガラ	発生始期まで
						シズイ	草丈3cmまで
						アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前～発生始

⚠ 使用上の注意事項（一部抜粋）

【4製剤に共通する注意事項】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに時期を失しないように使用してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がプレが出るので、必ず適期に使用するようご注意ください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く遅い発生のもまで十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 著しい多雨条件では、除草効果が低下する場合がありますので使用をさけてください。
- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(漏水深2cm/日以上)では、薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
- 直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いくさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意してください。別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 密封・密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、子供の手のとどかないなるべく低温で乾燥した場所に保管してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋・空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 【1キロ粒剤・フロアブル・FGに共通する注意事項】
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 【フロアブル・ジャンボ・FGに共通する注意事項】
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び補え付けは行わないで行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に注意して行ってください。
- 【1キロ粒剤・フロアブルに共通する注意事項】
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも

- 3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 【1キロ粒剤・FGに共通する注意事項】
- 薬に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 【ジャンボ・FGに共通する注意事項】
- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cmの湛水状態を保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 【1キロ粒剤の注意事項】
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び補え付けは行わないで行ってください。移植時または移植直後に使用する場合は未熟有機物を施用した場合は、特に注意して行ってください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
- 【フロアブルの注意事項】
- 使用前には容器を軽く振ってください。
- 散布の際は手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手洗、顔などを石けんでよく洗うがいをしてください。

\* 毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

- 水口処理の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれないよう注意してください。
- 【ジャンボの注意事項】
- 本剤は小包装(パック)のまま、10アール当り10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- パックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないようにしてください。
- 葉や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。
- 水溶性フィルムは吸湿性があるので、湿気には十分注意し、使い残りは外袋の口を固く閉じて保管してください。また、強く加圧されると水溶性フィルムが劣化するおそれがあるので下積みにならないようにしてください。
- 【FGの注意事項】
- 葉や浮き草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので湛水周縁散布をさけ、本田内で水田全面に散布してください。

本資料の記載内容は2022年6月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。